横田基地のイロコイ、立川防災航空祭に参加

Yokota Iroquois joins JGSDF festival

October 11, 2016

Original text by Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

平成28年度「立川防災航空祭」が10月1日、陸上自衛隊立川駐屯地で開催され、横田基地第459空輸中隊のUH-1Nとキャンプ座間陸軍航空大隊のUH-60ブラックホークが航空機の地上展示に参加した。

立川駐屯地では、市民の防災意識の向上を図り、各種機関の連携・即応体制の理解を深めてもらう目的で、駐屯地の一部を一般開放するイベントを毎年行っている。同イベントは、今年で43回目を迎えた。

今年も陸上自衛隊のヘリコプターによる編隊飛行や各種機関の災害救助関連の展示・航空機の地上展示ほか、様々な催しが行われ会場は賑わった。

1

（写真1）来場者に話しかける横田基地第459空輸中隊フライト・エンジニアのデイビッド・ジェイコブ技能軍曹（右）。

2

（写真2）地上展示されたUH-1Nイロコイのコックピットに座り、操縦席を内覧する来場者たち。

同航空祭では、陸上自衛隊所属のヘリコプターのほか米軍（横田基地、キャンプ座間）、海上自衛隊、警視庁、東京消防庁、日本赤十字社のヘリコプターが展示・公開された。

3

（写真3）陸上自衛隊UH-1Jによる編隊飛行、ホイストの実演、災害支援活動の実演に見入る来場者と横田基地UH-1Nのビンス・バスケス大尉（左）とデイビッド・ジェイコブ技能軍曹（右）。